

【車椅子バスケットボール体験】

1月24日には、障害があっても前向きに取り組む人たちとの触れあいを通して、夢を持つことの素晴らしさや前向きに努力することの大切さを理解することを目的に行いました。講師には、元車椅子バスケットボール選手の齋藤信之氏をはじめとする4名の方をお迎えしました。

車椅子の動かし方やシュートの手本などを教えてもらった後、5人ずつのチームに分かれてミニゲームを行い、障害者スポーツを体感することができました。

その後、対話形式での講演会が行われ、齋藤さんは「少しでも多くの人に車いすバスケの楽しさを味わってもらいたい。そして、目標を持ったら、できるできない関係なくとにかく何事にも全力でやって欲しい」と話していました。

参加した生徒は「障害があるとかないとか関係なく、スポーツを楽しみたいことには変わりがないと思いました」、「車椅子のコントロールやシュートなど難しかったですが、楽しくできました。他の障害者スポーツも体験してみたいです」と感想を話していました。



【假屋崎省吾さんとの花いけ体験】

3日には、華道家の假屋崎省吾さんのトークショーに、特別ゲストとして本校の花いけバトラが招かれました。

生徒たちは、假屋崎さんと会場に集まったおよそ500人の前で花いけを披露し、假屋崎さんから作品についてのアドバイスを受けていました。その後、假屋崎さんの申し出で一緒に生け花を行い、ピンクのバラや薄紫のデルフィニウムなどを使って色鮮やかな作品に仕上げると、会場から盛んに拍手が送られていました。

参加した生徒は、「私たちが考えた生け方が評価されてうれしかったです。卒業後も生け花を続けていきたい」と話していました。假屋崎さんは、「怖いもの知らずで、果敢に挑戦する意気込みが素晴らしい。今後も基礎を学んで成長してほしいです」と話していました。

